



JASDAQ

2021年12月28日

各 位

日本出版貿易株式会社
代表取締役社長 綾森 豊彦
(JASDAQ・コード8072)
問合せ先
事業管理本部総務部長 木村 樹
電話番号 03-3292-3751

新市場区分における「スタンダード市場」選択申請及び
新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券所の市場区分の見直しに関して、本日開催の取締役会において、「スタンダード市場」を選択することを決議し、新市場区分の選択申請書を提出いたしました。また、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしてないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額及び株主数については基準を充たしておりません。当社は、株主数及び流通株式時価総額に関しては2025年までにそれぞれ上場維持基準を充たすために各種取組を進めて参ります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (移行基準日時点)	330人	2,170単位	2.8億円	31.0%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画書に記載の項目	●		●	

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○ 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

1. 基本方針

スタンダード市場の上場維持基準の充足に向け、持続的な成長による企業価値の実現と、自社ウェブサイトリニューアルによる IR の強化、コーポレートガバナンスの充実を図っていく方針です。

2. 課題

当社は、「流通株式比率の向上」「事業計画の推進による業績の向上」「企業価値の向上」が株主数及び流通株式時価総額の上場維持基準への適合へ向けた課題であると認識しており、これらを継続的に、かつ、着実に進めることで基準を充たすことを目指しております。

3. 取り組み内容

当社は、株主数および流通株式時価総額の上場維持基準への適合に向けた課題として「流通株式比率の向上」が必要であると認識しております。具体的には、上場維持基準を上回っている流通株式比率を 45.0%程度とする目標により、事業法人等の保有目的等を考慮しつつ既存株主の売却を促し、個人株主の増加を目指して参ります。加えて、課題である「事業計画の推進による業績の向上」は、特に語学書に加えて文具・雑貨販売が軌道に乗り始めた輸出部門及び北米を中心とした海外子会社を成長の軸にした事業を推進して参ります。国内向けの輸入事業とも相まって、当社は過去 5 年間にわたり自己資本利益率（ROE）は上昇しており、5 年間で約 3.5 倍となりました。自己資本利益率が株価に直結するわけではありませんが、当社は、業績の向上が必ずしも株価に適正に反映されていないと考えており、当社の事業内容及び取り組みを伝えることで、株価への反映に繋げるべく、今年、公式 Facebook ページを開設し、事業報告書でもご紹介する取り組みを開始しております。SNS を活用した情報発信については他の媒体も検討のうえ取り組みを継続して参ります。また、ウェブサイトが投資家にとっての情報収集に重要なツールであることを認識のうえ、自社ウェブサイトのリニューアルについても 2022 年 4 月頃を予定した準備を始めており、当社グループの事業に対する取り組み内容を分かりやすく伝えることで「企業価値の向上」を目指すべく、積極的な情報発信を行う様々な取り組みを行って参ります。こちらについては SNS のフォロワー獲得や、リニューアル後のホームページのリピーターを増やす等、浸透までに時間を要することから、株価への反映を含め約 3 年の期間を設定しております。これらの施策により過去 2015 年 3 月 30 日に記録した株価 3,340 円を目標として、上記流通株式比率の目標値と合わせて、流通株式時価総額の上場維持基準への適合を進めて参ります。

以上